

平成 23 年 2 月 14 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

大栄環境株式会社に「環境配慮企業支援ファンド」を活用した融資を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」の趣旨に則り組成した「環境配慮企業支援ファンド」を活用し、大栄環境株式会社（代表取締役社長：金子 文雄）に対し、融資を実施しました。

三井住友銀行では、従来より「SMB C環境配慮評価融資」に積極的に取り組んでおり、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づいた企業の環境配慮状況进行评估することで、先進的な環境配慮経営を行っている企業に対して、積極的な支援を実施して参りました。

「環境配慮企業支援ファンド」は、従来の「SMB C環境配慮評価融資」の枠組みに、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」を活用することで、企業の環境配慮経営への支援、並びに日本経済の成長基盤強化への支援に、従来以上に取組むことを目的に組成したものです。

今回対象となった株式会社は、「環境マネジメントシステム」「環境ビジネスと環境コミュニケーション」の面で非常に高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を行っているとの評価となりました。

特に、①「廃棄物処理とは、廃棄物を再生加工し、再び人間生活・産業・自然に循環させることである」という理念の元、再資源化やコンサルティングなど廃棄物の総合ソリューションビジネスを展開されていること、②事業活動に伴い発生する環境負荷量を定量的に把握・分析し、毎年具体的な目標値を設定、環境に及ぼす影響を可能な限り低減するよう努めていること、③CSR報告書やWEBサイトでの積極的な情報開示、施設見学の受入や地域イベントへの参加、和泉リサイクル環境公園での活動など、幅広い環境コミュニケーションを実施されていることが高く評価されました。

三井住友銀行では、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」の趣旨を踏まえ、当行のノウハウ及び情報提供力を十分に発揮できる『環境』・『中国』等の分野を中心に、引き続き企業の活動を支援して参ります。



①100%リサイクルを実現したガス化溶融施設



②会社ロゴ:Dins Inter Nature System



③キッズISO14000 プログラムで子供たちに環境授業

以 上